

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

西川 博会長 年度目標
「ロータリーの輪を広げよう」



創立 1995年3月9日
承認 1995年3月28日
会長 西川 博
幹事 加藤 久明

事務局 名古屋市中区栄3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007号
TEL 052-263-1324
FAX 052-263-0730
Mail rc.nagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp
HP <http://www.nagoya-marunouchi-rc.org/>

例会場 名古屋クレストンホテル

TEL 052-264-8000

例会日時 木曜日 12:30

プログラム・クラブ会報広報委員長 矢野雄嗣

第900回 例会No. 39 平成 26年4月24日(木) 晴

社会奉仕「古本回収 友愛夜間例会」18:30～

- ローターソング 「手に手つないで」
- 出席報告 会員46名中20名出席
- 出席率 50.00% 出席計算人数40名
- 修正出席率 4月10日 95.34%
- スピーカー 松下敦士様
- ゲスト 深谷智子様、高井育子様
- ビジター 豊橋南 RC 内藤哲寛さん以下17名
(サイン受付)

会長挨拶

皆さんこんばんは、今日は古本回収例会です。

障がい者就労支援「あるく」代表取締役の松下敦士様・深谷智子様・高井育子様ようこそいらっしゃいました。後程お話をいただきますのでよろしくお願いします。

先日今回の古本を探していましたら父が残して置いた漫画の本、戦後間もない昭和25年朝日新聞社発行の「ブロンディ」チック・ヤング作が出てきました。10集中9集が残っていました。昔、小学生のころだったと思いますが、日本よりはるかに進んだアメリカの生活に大変興味を持ったものです。そのころの父の書棚にあったのは、ポピュラーサイエンス、リーダーズダイジェストなどアメリカの雑誌があって、ポピュラーサイエンス本の中でエンジン付きのU-コントロール飛行機に大変興味を持ったものでした。

私には小学4年生のころから「子供の科学」という雑誌を毎月買ってきてくれました。

先ほどの漫画「ブロンディ」単行本第8集の末尾に獅子文六の「ブロンディー家」と題したエッセイの一部が掲載されていました。少し読んでみます。……………

「ブロンディ」は教えている 獅子文六

アメリカ漫画の「ブロンディ」が、日本の新聞に連載された当初は、誰でも、ちよいと馴染み悪かった。例へば、ブロンディの亭主ダグウッドが、二本の角のように髪を直立させ、ミッキーマウスのような顔つきをしているのが、誇張に過ぎ、人間離れがして、興味を誘わなかったのである。

ところが、毎日あれを見てうちに、いっともなしに、読者の情が移ってくるのは不思議の感があった。亭主ダグウッドも、娘も息子も、飼犬のデージーも、隣人のウッドレイ夫妻も、あの面貌の誇張が気にならなくなり、反対に、まるで知合いの日本人であるかのように、親しみと現実性を感じてくるのである。

それは、どういう理由であるか、私の考えでは、あんな突ッ飛な筋や事件が、描かれていても、その底にアメリカの小サラリーマンの家庭生活が、いろいろ窺われる節がありそれが現在の日本人の興味を誘う性質を持っているからではないか、と思う。単に、アメリカの小サラリーマンの家庭生活のみならず、それを通して、あの漫画は日本人に対して、極く端的に、アメリカやアメリカ人を教えてくれるのである。むずかしいアメリカ研究の本より、あの漫画を見る方が、解りが早く、解り方も具体的である。といて、日本の小サラリーマン家庭とブロンディー家のその間には、なんとという大きな差異が横わっていることだろう。まず、ブロンディー家の生活状態であるが、電気冷蔵庫、電気洗濯機、電気料理ストーブ、真空掃除機の類はもとより、居間、食堂、浴室の装飾も家具も、悉く新式で、いかにも居心地がよさそうである。殊に、寝台のダブルベッドが素晴らしい。アメリカでは安月給取りの家庭にあるらしいのである。 中略

彼は、ブロンディを、大いに愛している。細君を愛するという点で、日本の若い良人たちも、彼に負けないかも知れない。しかし、彼のように、細君を尊敬することのできる者は、手を挙げてご覧なさい。ブロンディが幸福な妻であり、主婦であることは確実だが、ダグウッドが世界の最も幸福な亭主であるか、という問題になってくると、日本の亭主の一人として、私も慎重な考慮を拂わずにいられない。彼が細君からイヤな仕事を命令されて、しかも失敗に失敗を重ね、「亭主なんかになるもんじゃない！」とひそかに悲しい溜息を洩らす場面を見ると私も亦、日本の亭主に生れてよかったと溜息を洩らさないでもないのである。……………

又、同じく男性の視点から『ブロンディ』単行本第7集の末尾に、荒垣秀雄が「ブロンディ漫画の魅力」を寄せています。「天声人語」を17年半にわたって担当し、1956年に第4回菊池寛賞受賞)このアメリカの日常生活を描いた漫画『ブロンディ』が敗戦直後に連載され、「憧れのアメリカン・ライフの象徴」として、いかに当時の人々の心を強く捉えた漫画であったのかうかがわれますね。

ニコBOX

●本日は社会奉仕委員会の障害者支援事業「古本回収」にご協力有難うございます。『あるく』の松本敦士様よりどのような活動をされているのかご紹介頂きます。『あるく』の皆様、ようこそお越し下さいました。宜しくお願い申し上げます。

西川会長、若原、小菅、横田、吉田、大附、立石、後藤、堀江、岩田、矢野、水野、十文字(敬称略)

大岩社会奉仕委員長 社会奉仕「古本回収」、よろしくお 願ひします。
●春の健康感謝ニコニコ Day 武山さん
本日合計 30,000円

卓 話

「障がい者就労支援事業の活動について」

松本敦士



第899回 例会No. 38 平成 26年4月17日(木) 晴

■ ローターソング	「それこそロータリー」
■ 出席報告	会員46名中24名出席
■ 出席率	57.14% 出席計算人数42名
■ 修正出席率	4月3日 95.12%
■ スピーカー	吉田光一さん、藤田守彦さん

会長挨拶

皆さんこんにちは、今日は二つのバナーについてお話をします。一つはロータリー財団からいただいた「財団 NO.2 バナー」を披露します。

これはロータリー財団の一人あたりの寄付が前年度藤田会長の時 2760 地区で 2 番の表彰のバナーです。昨年は一人 100 ドル、1万円の年次寄付と3人の方のポールハリスフェロー、吉田さんの大口寄付で総額 1,284,000 円、一人当たり 28,533 円でした。本年度も全員の方から財団友の会、5名もの多くの方にポールハリスフェロー寄付をいただいています。そして米山の寄付も川原ガバナー補佐が地区の米山の担当ということで協力要請があり、一人 1 万円を全会員の方、米山功勞に5名の寄付をいただきました。また、川原ガバナー補佐からも大口寄付をいただいております、総額 1,082,500 円、一人当たり 24,056 円です。ご協力有難うございます。

さてもう一つのバナーですが、先日 3 月 6 日に例会訪問をいただいた 2790 地区岡山丸の内ロータリークラブの幹事、西村篤志さんとバナー交換をしました。

当クラブをインターネットのホームページを見てメーキャップ先に選んでくれたそうです。その岡山丸の内ロータリークラブの会長幹事より次のようなお礼の手紙をいただきましたので披露いたします。

拝啓 陽春の候益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

先日は貴クラブ様の創立例会に訪問させていただき、貴重なお時間を共有させていただきましたこと、誠にありがたく厚く御

礼申し上げます。

お陰様で、大変有意義な時間を過ごすことができました。また、いろいろとお心遣いをいただき、ありがとうございました。

これもひとえに西川会長のお人柄と感謝申し上げる次第でございます。

本采であれば、直ちにお礼を申し上げなければならないところではありましたが、この度の私の貴クラブへのメータアップを当クラブの会長に報告また例会でも報告させていただいたところ、貴クラブと当クラブには共通点(名前が同じ、来年周年行事、会員規模が同程度等)も多く友好クラブとしての交流ができないものかとの提案があり、当クラブ会長よりその方向性で模索していこうと指示を受けまして、その調整でお礼が遅くなりました。申し訳ございません。

そして、貴クラブへ提案ですが友好クラブ関係を当クラブと結ぶことを検討していただけませんか。

宜しくご検討のほどお願い申し上げます。

まずは略儀ながら書中をもって感謝申し上げますとともに、貴クラブ様の益々のご発展をお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。 敬具

岡山丸の内ロータリークラブ

会長 隅田 倫且、幹事 西村 篤志

岡山丸の内ロータリークラブ概要

創立 平成元年 11 月 15 日(1989 年) 正会員36名

RI 第 2690 地区所属

例会日水曜日 12:30～13:30

例会場 岡山全日空ホテル

岡山市北区駅元町 15-1(岡山駅前)

岡山には岡山城、水戸の借楽園、金沢の兼六園そして岡山の後楽園、3大庭園で有名ですまた県内には大原美術館のある倉敷市があります。

大変いいお話だと思います。来年創立20周年を迎えますいい機会ですので友好クラブ提携を前向きに進めたいと思いますので、会員の皆様方の検討のほどよろしく申し上げます。

米山功勞者・PHF 表彰

マルチプル PHF として森田正樹さん(3回目)、米山功勞者、PHF として松尾雄二郎さんに、記念のバッジと米山功勞感謝状をそれぞれ贈呈致しました。

4月17日ニコBOX

●本日は来年迎える20周年記念例会の実行委員会より報告をしていただきます。実行委員長の吉田光一さん、副委員長の藤田守彦さん、宜しくお願ひ致します。

西川会長、加藤幹事、若原、松尾、横田、田中、大附、岩田、堀江、十文字、河原、水野、亀井、渡邊(敬称略)

藤田さん 皆様、創立 20 周年記念例会ご協力下さい。

川原さん 当法人のインドネシアパートナー、ゴーベル氏のご尽力でガルーダインドネシアがセントレアへ就航します。月曜日の PM4:00、知事とガルーダお社長の会見が行われます。

岡田さん ネパール登山、3週間行ってきます。

松本さん 初孫が誕生しました。名前はミロのヴィーナスからとってミロといいます。海外で生まれたハーフです。

●春の健康感謝ニコニコ Day 藤田さん以下7名

本日合計 55,000円